

ボールの特性レポート BALL REPORT



ボール名 ハイパー・ベノム	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.480	ΔRG 0.034	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：ハイパー・ベノム

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

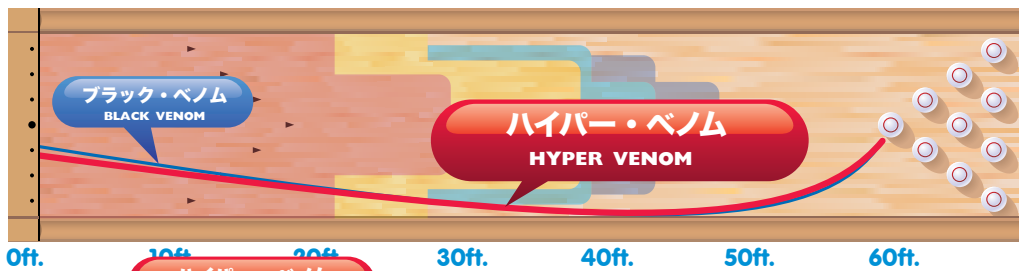
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤 番

比較対照ボール：ブラック・ベノム

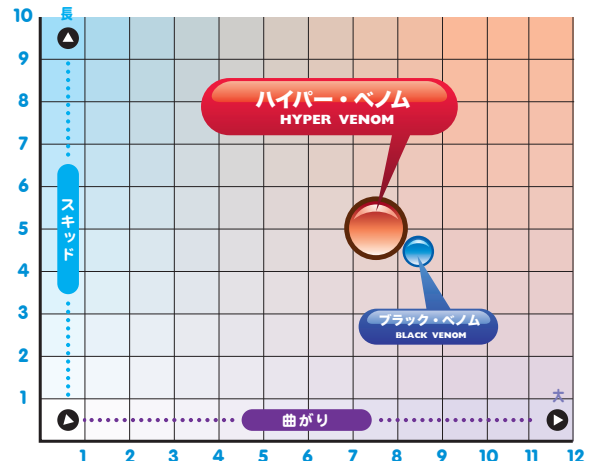
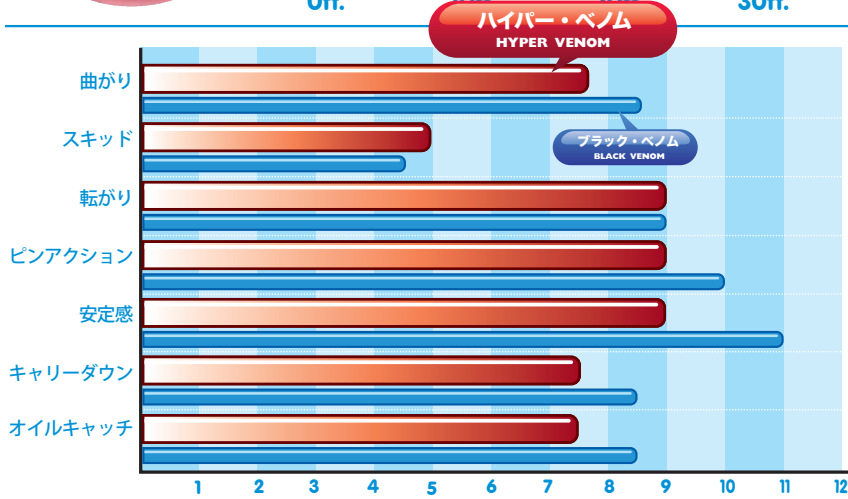
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤 番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

HYPHER VENOMは、VENOMシリーズで初めてPropulsionカバーテクノロジーを採用したボールで、以前スーブラ・ラリーとニュークリアー・フォージに採用されていたPropulsionカバーの配合をベースに、新しいPropulsion MXR Pearl Reactiveテクノロジーを採用しています。このカバーはVIP ExJ SIGMAよりもダウンレーンでの動きを生み出すように調整されており、同時にスーブラ・ラリーよりもオイル中でのトラクションを高めています。このカバーを採用することで、VENOMが持ち合わせている攻撃性をさらに強めると同時に、以前のPearl仕様のカバーストックの弱点とも言えるオイルに過剰反応する場面を少なくし、より安定した走りとバックエンドの動き双方を叶えることが出来ました。そのパフォーマンスを支える心臓部には信頼性の高いGEAR コアを採用しています。このコアはMOTIVでは数多くの実績を残し、特に低いRGと低いディファレンシャルを活かし回転しやすく低フレアを実現することで、回転動力のロスを最小限にして、バックエンドまでエネルギーを保持することができます。5500 Grit LSPフィニッシュもその動力確保に一役を担っていることは言うまでもありません。

MOTIVのPearlカバーストックは特に力を入れている分野でもあり、その性能は以前よりもオイルに対しての強さとドライエリアの反応性どちらをみても格段にパワーアップしており、以前の強めのHybridぐらいの性能が今では当たり前のようにPearl素材で出せるようになってきました。Pearlでも十分なぐらいパフォーマンスが出ていて、VENOMらしさが進化し、さらなる領域がみえるHYPHER VENOMは他社にはない攻撃性のあるリアクションを魅せてくれるでしょう。

特記事項

MOTIV社の自信の表れであるPearlカバーストックを基調に、また新たなVENOMの魅力を感じるボールに仕上がっています。